

オホーツク地域のキャラクター

-LOCAL CHARACTERS-

市町村	キャラクター名	着ぐるみ	キャラクター画像	キャラクター紹介
北見市	ミントくん			北見観光協会のキャラクター。エゾリスがモチーフ。かつて世界シェアの7割を生産していたミントの葉をくわえています。
	ペッパーちゃん			北見観光協会のキャラクター。ミントくんの奥さん。2人仲良く北見のPRをしています。
	のんたくん のんこちゃん			端野町観光物産協会キャラクター。「端野町」の頭文字「t」を用い、麦の形をデザインしています。豊かな自然を生かして町が発展・飛躍する姿をイメージしています。
	エコロン	着ぐるみはありません		ごみの減量化マスコットキャラクター。ごみの減量化や資源化が少しでも緑につながるエコの種として羽ばたいていきますように、という願いがこめられています。
	まつぼう			留辺薬商業振興会、通称「きごころ商店街」のキャラクター。ふわふわの松かさ、大きな目がチャームポイント。趣味はショッピング、お祭りには盆踊りやよさこいも踊ります。
	白花マメ太郎	着ぐるみはありません		おんねゆ観光協会のマスコットキャラクター。留辺薬町が生産量日本一を誇る「白花豆」がモチーフになっています。
	ところくん			常呂漁業協同組合のキャラクター！ホタテをモチーフにしているため。「ほたてくん」とよく言われるが「ところくん」です！
網走市	ニポネ			網走の工芸品ニポポ人形とクリオネからデザインされたニポネは、網走市民の公募作品から選ばれた、網走市のご当地キャラクターです。
	カニ筋太郎 (かにきんたろう)			網走のご当地体操「あばしり健康カニチョッ筋体操」をPRするマスコットキャラクター“カニ筋太郎”です。網走らしさを表現した衣装は、市民公募で決定しました。
紋別市	紋太			紋太はあざらしがモチーフで、寒さには強いがお腹が冷えないように腹巻は欠かせません。自慢の半被は流水をイメージしたデザインです。お祭りが大好きで、祭があればどこへでもかけつけて盛り上げます。
美幌町	ぎゅうたろう			おとなしく、シャイ。ほめるとときどき舌をペロッと出してテレます。元気いっぱい、きき腕の左腕に美幌峠の形をしたカゴができます。水色のマフラーは、ぎゅうたろうのお気に入り。美幌のエネルギーが込められたマフラーで、これがないと力が出ません(「美幌」はアイヌ語「ピ・ポロ」(水多く・大なる所)を語源としますが、マフラーの水色は、その美幌の清流をイメージしたものです。)
津別町	まる太くん			緑のふるさと愛林のまち津別をたくさんの人に知ってもらえるように誕生したキャラクターです。林産業を象徴する「丸太」豊かな森に生きる動物たちの代表「ヒグマ」スポーツ合宿の「ラガーシャツ」で津別町をPRしています。
斜里町	シャリッとさん			知床斜里応援マスコットキャラクター「シャリッとさん」。頭には流水で出来た斜里岳ハット、そのふもとは豊作のジャガイモがゴロゴロ並び、ぴちぴちの鮭のネックレスをしています。好きな食べ物は流水です。
清里町	きよっぴ			「じゃがいも頭に、ムクゲの花をのせ、前髪がさくらの滝、体が神の子池でかんじきを履いています。清里の魅力をいっぱい詰め込んだキャラクターです。
	セイリュウジン			清里町を狙うカレル帝国と戦うローカルヒーロー。清里町の竜神伝説と、顔は神の子池のブルーと倒木がモチーフになっている。ツイッターで様々なPRをしているぞ。
小清水町	でん坊			僕が生まれた小清水町の郷土料理「でんぷんだんご」がモチーフなんだ。正面の姿はでんぷんだんごを、球形の格好は原材料のじゃがいもを表現しているよ。チャームポイントは具材の金時豆でできた目、鼻、口さ！
	ほがじゃ			福太郎(株)小清水北陽工場で作られているせんべい「ほがじゃ」のPRキャラクターだほ。頭に鉢巻き、体には大きな「ほ」の文字があるほ。話す時は語尾に「ほ」が付くんだけ。「じゃがいもでんぷん課」の係長だほ。

オホーツク地域のキャラクター

-LOCAL CHARACTERS-

市町村	キャラクター名	着ぐるみ	キャラクター画像	キャラクター紹介
訓子府町	めろねっぷ			頭に訓子府の美味しいたまねぎとメロンをのせてるの。メロン柄がオシャレでしょ。しっぽに見えるメロンのツルは歩くと揺れる、私のチャームポイントだよ。
	たまねっぷ			やんちゃで元気！酪農や農業のお手伝いが好き。牛乳も大好き(早く大きくなりたいから!)。トレードマークの牛柄のサロペットは、肩紐のボタンが訓子府の星空をイメージした☆のボタンだよ。
置戸町	おけばんばくん			置戸の名物イベント「人間ばん馬」をイメージさせる馬のキャラクターです。のんびり屋なので、人間ばん馬に参加してもなかなか勝てません。パークゴルフの森に住み、パークゴルフと温泉をこよなく愛しています。
佐呂間町	ももちゃん			ももちゃんは、佐呂間町の特産品であるかぼちゃとホタテをモチーフにしたキャラクターで、佐呂間町開基100年を記念して1994年に誕生しました。名前の由来は百年の“百”からきています。元気に歩き続けるサロマっ子の姿で、未来性をイメージしました。ホタテの帽子をとって、みなさんに元気に挨拶しています。
遠軽町	あめまるくん			あめまるくんは、丸瀬布森林公園いこいの森園内を走る丸瀬布地域の歴史的遺産雨宮21号から生まれたSLキャラ。大きな煙突から煙を出す姿が特徴です。胸には車両ナンバーの21があしらわれています。
	リーモ			リーモは、四方を山に囲まれ、山林原野が95%を占める丸瀬布地域の緑あふれる森林を表したキャラクターです。枝葉のボリュームが自然の豊かさを表し、胸には緑の豊かさを象徴する葉っぱがあしらわれています。
	川三(かわぞう)			川三は、清流が貫流する丸瀬布地域を表したキャラクターです。水をイメージしたシルエットと大きな口の中に見えるお魚が生き物を育む清流を表現しています。胸には水滴マーク。川が三つで川三です。
	アンジ君			アンジ君は、白滝ジオパークの目玉である黒曜石から誕生しました。その昔、黒曜石のことをアンジ(チ)と呼んでいたアイヌの人たちに名前をもらいました。地球の遺産を未来に伝えていくための活動をしています。
	こけもも姫			白滝ジオパークのキャラクター、アンジ君の妹。気が強くて世話焼き好き。でも実はとってもロマンチスト。2万年前から白滝の大地に咲く、かわいらしいコケモモの花がモチーフのキャラクターです。
滝上町	ピコロ			ピコロは、童話村の願いを叶える「芝ざくらの妖精」です。「楽器のピッコロのように、素敵な音楽の流れる楽しい町になるように」と願いがこめられ、町内のいたるところで見ることが出来ます。
湧別町	チューピット リップちゃん			「かみゆうべつチューリップ公園」のイメージキャラクター・チューピット。町内至るところで見ることができる、みんなに夢を与えるチューリップの妖精です。リップちゃんは、チューピットのめんこい(可愛い)妹。お兄ちゃん思いのよい子です。チューリップフェア期間のチューリップ公園で、土曜日・日曜日に多く見られます！ http://www.town.yubetsu.lg.jp/20town/O1gaiyou/tupid.html
西興部村	セトウシくん			セトウシくんは村のPRを目的に誕生し、村内外の各イベント等でPR活動を行っています。キャラクターは、村の基幹産業である酪農から「牛」と、村内にギター工場があることから「ギター」をメインモチーフに、村のイメージカラーを取り入れております。
大空町	そらっきー			大空町の「空」とオホーツクの玄関口、女満別空港の飛行機の「機」から名付けられました。英語では「So Lucky」幸せを運んで来るという意味です。
オホーツク総合振興局	つくつく オホーツクン			オホーツクのすばらしさを知ってもらうために誕生し、各地のイベント等でオホーツク地域をPRしていますつく。3つの顔は、上から“天力・地力・人力”を表していますつく。

オホーツクの歴史

-HISTORY OF OKHOTSK-

■オホーツクの語源

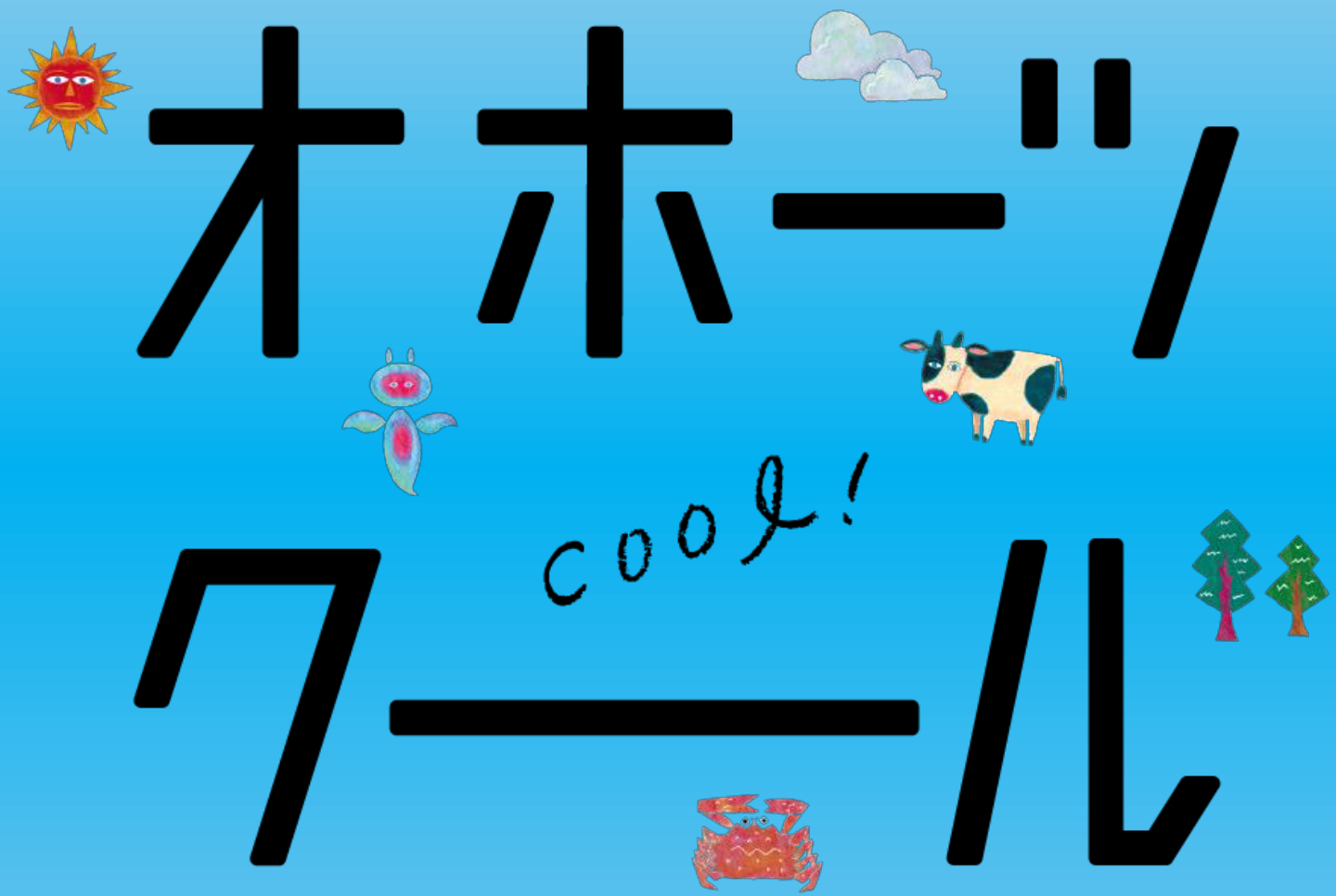
17世紀前半に現在のハバロフスク地方のオホーツクの地に入ってきたロシア人が、現地の住民にそこを流れる川の名前を聞いたところ、川を意味する「okāt」（エベン語）と答えた。ロシア人は、その言葉をその川の名前とし、川の河口につくった町を川の名前にちなんでオホーツクと名付け、さらにその町が面する海をオホーツク海と呼ぶようになりました。（参考文献：池上二郎1988「ことばの上からみた東北アジアと日本」『北海道の文化59』北海道文化財保護協会。北海道立北方民族博物館ホームページ）

なお、オホーツクの語源については諸説あるようですが、「もとはロシア語ではなく、土地の原住民のことば」が由来で、「日本列島に住む私どものことばも、広義にいえばツングース語の遠縁の言語になる」という説もあります。（引用部分：司馬遼太郎『街道をゆく38<オホーツク街道>』）

■沿革

- 1869年（明治2年） 開拓使設置、蝦夷地を北海道と改称、11国86郡を置く。
この地方は北見国網走・斜里・常呂・紋別の4郡となる。
- 1872年（明治5年） 全道を6部に区分し札幌に本庁、函館など5カ所に支庁を置く。
4郡は、根室支庁の管轄に属する。
- 1873年（明治6年） 網走に根室支庁出張所を設置。
- 1880年（明治13年） 網走・斜里・常呂・紋別郡役所が網走に設置される。（以下「網走郡役所」という）
- 1881年（明治14年） 釧路国網走郡を北見国網走郡に合併。
- 1882年（明治15年） 開拓使を廃止、函館・札幌・根室の3県を置く。4郡は根室県に属する。
- 1886年（明治19年） 3県1局を廃止し、北海道庁を設置。函館・根室に支庁を置く。
網走郡役所は従来どおり4郡を管轄する。
- 1897年（明治30年） 北海道区制、一級町村、二級町村制公布。郡役所を廃止し19支庁を置く。
この地方に網走支庁が設置される。
- 1910年（明治43年） 鉄道開通に伴い交通事情が改善されたことから、支庁の一部統廃合により14支庁体制が形成される。
- 1923年（大正12年） 戸長役場を全廃し、町村制が施行される。（市6、一級町村99、二級町村155）（この地方は5町17村）
- 1947年（昭和22年） 地方自治法施行。地方公共団体「北海道」となる。
- 1948年（昭和23年） 北海道支庁設置条例施行に伴う14支庁体制となる。
- 1956年（昭和31年） 相内村が北見市に編入。佐呂間町、若佐村が合併し、佐呂間町を設置。
- 1961年（昭和36年） 端野村が町制を施行。
- 2005年（平成17年） 生田原町、遠軽町、丸瀬布町、白滝村が合併し遠軽町を設置。
- 2006年（平成18年） 北見市、端野町、留辺蘂町、常呂町が合併し、北見市を設置。東藻琴村、女満別町が合併し、大空町を設置。
- 2009年（平成21年） 上湧別町、湧別町が合併し、湧別町を設置。3市14町1村体制となる。
- 2010年（平成22年） 北海道総合振興局及び振興局の設置に関する条例施行に伴い、オホーツク総合振興局を設置。





オホーツク2019（管内概要）

編集：北海道オホーツク総合振興局地域創生部地域政策課

〒093-8585 網走市北7条西3丁目

TEL：0152-41-0620

FAX：0152-44-7261

<http://www.okhotsk.pref.hokkaido.lg.jp>

発行：2019年3月